

# アクサ世界株式ファンド (追加型投信/内外/株式)

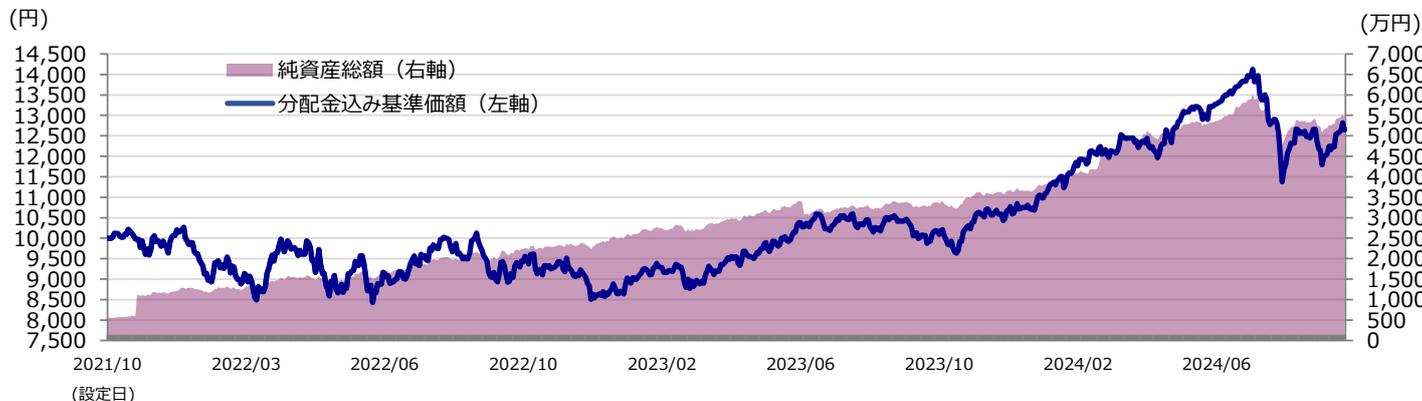
基準日：  
2024年9月30日 現在

## 〔ファンド情報〕

設定日：2021年10月29日 信託期間：無期限  
決算日：毎年4月16日および10月16日(休業日の場合は翌営業日)

## 〔運用実績〕

### 基準価額の推移



※基準価額は、運用管理費用控除後のものです。  
※分配金込み基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。  
※基準価額は設定日前日を10,000円として計算しています。

## 〔基準価額・純資産総額〕

(基準価額は1万口当たり)

|       |          |
|-------|----------|
| 基準価額  | 12,649 円 |
| 純資産総額 | 5,446 万円 |

## 〔騰落率、税引前分配金込み〕

| 1カ月  | 3カ月   | 6カ月  | 1年    | 3年 | 5年 | 年初来   | 設定来   |
|------|-------|------|-------|----|----|-------|-------|
| 0.9% | -7.7% | 1.6% | 25.5% | -  | -  | 17.9% | 26.5% |

※騰落率は、税引前の分配金を再投資したものととして算出していますので、実際の投資家利回りとは異なります。

## 〔分配金実績〕

(1万口当たり、税引前)

| 決算期        | 分配金額 |
|------------|------|
| 2022/4/16  | 0円   |
| 2022/10/17 | 0円   |
| 2023/4/17  | 0円   |
| 2023/10/16 | 0円   |
| 2024/4/16  | 0円   |
| 設定来累計      | 0円   |

## 〔資産の組み入れ状況〕

| 組入れファンド名   | 構成比    |
|--|--------|
| アクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレンドズ(Mシェアクラス) <sup>1</sup> | 100.0% |
| アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド <sup>2</sup>       | 0.0%   |
| 合計   | 100.0% |

<sup>1</sup>:以下、エヴォルヴィング・ファンドということがあります。  
2023年1月より名称が変更されております。

<sup>2</sup>:以下、マネー・プール・ファンドということがあります。

※分配金は過去の実績であり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、運用状況によっては分配を行わない場合があります。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

# アクサ世界株式ファンド (追加型投信/内外/株式)

基準日:

2024年9月30日 現在

当ページはアクサ世界株式ファンドが実質投資するアクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレンズ(Mシエアクラス)の各種データを掲載しています。

## 〔ポートフォリオの状況〕

### 通貨別配分

| 通貨         | 構成比   |
|------------|-------|
| 米ドル        | 70.2% |
| ユーロ        | 7.8%  |
| 英ポンド       | 6.2%  |
| 日本円        | 6.1%  |
| デンマーク・クローネ | 2.4%  |
| 香港ドル       | 2.3%  |
| 台湾ドル       | 2.2%  |
| スイス・フラン    | 0.8%  |
|            |       |
|            |       |

### 国・地域別配分

| 国・地域  | 構成比   |
|-------|-------|
| アメリカ  | 69.3% |
| イギリス  | 6.2%  |
| 日本    | 6.1%  |
| オランダ  | 2.7%  |
| フランス  | 2.5%  |
| デンマーク | 2.4%  |
| ドイツ   | 2.3%  |
| 台湾    | 2.2%  |
| スペイン  | 1.3%  |
| 中国    | 1.3%  |

### 業種別配分

| セクター           | 構成比   |
|----------------|-------|
| 情報技術           | 32.7% |
| ヘルスケア          | 17.7% |
| 金融             | 12.8% |
| 一般消費財・サービス     | 11.0% |
| 資本財・サービス       | 8.7%  |
| コミュニケーション・サービス | 5.2%  |
| 公益事業           | 4.8%  |
| 生活必需品          | 2.0%  |
| 素材             | 1.7%  |
| 不動産            | 1.4%  |

### 組入れ上位10銘柄

(組入れ銘柄数: 59)

|    | 銘柄               | 通貨         | 国・地域  | セクター           | 構成比  |
|----|------------------|------------|-------|----------------|------|
| 1  | Alphabet         | 米ドル        | アメリカ  | コミュニケーション・サービス | 4.4% |
| 2  | Microsoft        | 米ドル        | アメリカ  | 情報技術           | 4.3% |
| 3  | Amazon.com       | 米ドル        | アメリカ  | 一般消費財・サービス     | 3.8% |
| 4  | NVIDIA           | 米ドル        | アメリカ  | 情報技術           | 3.6% |
| 5  | ServiceNow       | 米ドル        | アメリカ  | 情報技術           | 2.6% |
| 6  | Apple            | 米ドル        | アメリカ  | 情報技術           | 2.4% |
| 7  | Novo Nordisk     | デンマーク・クローネ | デンマーク | ヘルスケア          | 2.4% |
| 8  | Fiserv           | 米ドル        | アメリカ  | 金融             | 2.3% |
| 9  | American Express | 米ドル        | アメリカ  | 金融             | 2.3% |
| 10 | Siemens          | ユーロ        | ドイツ   | 資本財・サービス       | 2.3% |

※比率はアクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレンズ(Mシエアクラス)の純資産総額に対する割合です。

※業種はGICS (世界産業分類基準) によるものです。(以下同じ)

当ページはアクサ世界株式ファンドが実質投資するアクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレンズ(Mシエアクラス)の各種データを掲載しています。

〔組入れ上位10銘柄の概要〕

| 銘柄               | 国 / セクター              | 銘柄紹介  |
|------------------|-----------------------|---|
| Alphabet         | アメリカ / コミュニケーション・サービス | グーグルを傘下に収める持株会社。検索エンジンや動画共有プラットフォームなどを活用したネット広告事業が引き続き大きく収益に貢献する中、クラウド・コンピューティング事業が拡大している。グループ全体で生成AI技術の開発に注力しており、自動運転技術を開発する子会社ウェイモは、現在、米国内の複数の都市で自動運転タクシーを展開している。             |
| Microsoft        | アメリカ / 情報技術           | 米国のソフトウェア大手。多様なコンピュータ向けにソフトウェアの開発、製造、ライセンス供与、サポートを展開。「Windows」、サーバー、パソコン、OS、業務自動化・効率化アプリケーションに加え、家庭用ビデオゲーム機器、タブレットを提供。  |
| Amazon.com       | アメリカ / 一般消費財・サービス     | 幅広い商品を取り扱うオンライン小売。搬送ロボット・メーカーのKiva Systemsを買収後、10年超にわたり物流の自動化ソリューションを開発・導入している。同社の物流拠点ではすでに75万台超のロボットが稼働しており、迅速なサービスの実現に貢献している。また、収益源の柱のひとつであるクラウド事業の今後の成長性も期待されている。            |
| NVIDIA           | アメリカ / 情報技術           | 米国の半導体メーカー。コンピュータの画像処理などに使われるGPU（グラフィック処理装置）で高いシェアを誇る。生成AIの開発競争が追い風となり、データセンター向けGPUの売り上げが急拡大し、今では同社の売上高の大半を占めている。高い製品力に加え、AI開発を支援するソフトウェアに強みを持ち、データセンター向けGPUでは圧倒的なシェアを持つ。       |
| ServiceNow       | アメリカ / 情報技術           | 情報技術サービスを提供する米国のグローバル企業。インシデント管理、問題・変更管理、システム設定管理、資産管理、ソフトウェア開発ライフサイクル管理、コスト管理、HRサービスなどを実現するITサービス自動化アプリケーションを提供。   |
| Apple            | アメリカ / 情報技術           | パソコンおよび関連製品と移動通信機器、各種関連ソフトウェア、サービス、周辺機器、ネットワーク・ソリューションのデザイン、製造、販売を手掛ける。アップルウォッチやアップルTVなどの既存商品の伸びが期待できるほか、自社製品端末を使用して自動運転できる自動車やウェアラブル端末を使用した健康状態のモニタリングなどで研究を重ねており、実用化が期待されている。 |
| Novo Nordisk     | デンマーク / ヘルスケア         | ノボ・ノルディスクはデンマークの製薬企業。糖尿病治療、ホルモン補充療法等の領域で製品の開発、製造、販売を主に、事業を世界的に展開する。   |
| Fiserv           | アメリカ / 金融             | 米国の金融情報処理システム会社。取引決済処理、電子商取引サービス、インターネットバンキング、デビットカード・クレジットカードの作成などのサービスを提供。  |
| American Express | アメリカ / 金融             | 米国のクレジットカード会社。世界の個人顧客と企業向けにクレジットカード発行、トラベラーズチェックの発行、旅行代理業務、旅行傷害保険などの旅行関連事業を手掛ける。  |
| Siemens          | ドイツ / 資本財・サービス        | シーメンスは技術・製造会社（テクノロジー企業）。自動化、電化、デジタル化の分野に特化。各分野へ技術ソリューションも提供する。  |

※上記は、組入銘柄の一部をご紹介しますものであり、記載銘柄の推奨を行うものではありません。

当ページはアクサ世界株式ファンドが実質投資するアクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレンズ(Mシエアクラス)の各種データを掲載しています。

## 〔運用者コメント〕

### 市場概況

9月の世界株式は上昇しました。株式市場は2つの重要な政策措置により下支えされました。米連邦準備制度理事会（FRB）が4年ぶりの利下げに踏み切り、政策金利を50bp引き下げました。利下げがかなり織り込まれた市場の中、FRBによる大幅な利下げは緩和サイクルの開始として投資家たちに好感をもたらしました。失業率が4月の3.4%から4.2%へ上昇する中、FRBは景気の一段の悪化を望んでおらず、金利をより緩和的な水準に調整する用意があることを明確に示したといえます。利下げの発表や概ね良好な企業業績、経済指標を受け、9月の米国株式市場はプラスリターンとなりました。

2番目に重要な政策の動きは、中国政府が大規模な景気刺激策を発表したことです。これにより、中国政府は同国の経済と市場を支える意思があることを明確に示しました。この政策措置の目的は、デフレ・サイクルを断ち切り、国内の消費者心理を改善することにあります。このニュースを受け、中国本土株と香港株は月末に2桁の上昇を記録しました。

欧州中央銀行（ECB）は9月、インフレの沈静化や経済活動の低迷を背景に2度目の利下げを実施し、政策金利を3.5%としました。イングランド銀行は、8月に政策金利を引き下げた後、9月は据え置きました。この政策当局の決定の根底には、賃金の高い伸びとインフレ持続リスクがあります。

日銀は9月の金融政策決定会合で金利を据え置き、追加利上げを急がない姿勢を示しました。このハト派的な発言を受けて円相場は下落し、多くのエコノミストが予想したような年内の再利上げがあるか否かについての疑念が生じました。日銀の植田総裁は、賃金上昇が消費を押し上げる一方でインフレは抑制されており、予想通りに経済は動いていると述べました。日本株は世界株式市場全体から出遅れる形となりました。

9月の原油価格は、中東情勢のさらなる緊迫化にもかかわらず下落しました。サウジアラビアが、原油価格の非公式目標である1バレル100ドルを放棄する構えで、増産の準備を進めているとのニュースを受け、原油価格は70ドルを割り込みました。

### 運用状況

本戦略の9月のリターンは参照指数（MSCIオール・カンTRY・ワールド指数）を下回りました。「社会的繁栄」分野と「コネクテッド・コンシューマー」分野がパフォーマンスに最も大きくプラスに寄与しました。「高齢化とライフスタイル」分野は当月、マイナス寄与となりました。

「社会的繁栄」分野では、アリババとAIAの株価がともに当月、大きく上昇しました。最近発表された中国の多方面に及ぶ景気刺激策を受けて同国株式市場は大幅に上昇し、中国経済が数年にわたる低迷から回復する可能性が高まりました。生命保険大手AIA Chinaの富裕層に特化する戦略は他社にない特徴で、同社は所得控除可能な個人年金商品の販売で最大手となりました。8月末に発表されたAIAの2024年上半期の決算は中国での新規事業の高い伸び（前年同期比36%増）を示しており、フランチャイズの強みが浮き彫りとなりました。

「コネクテッド・コンシューマー」分野では、アマゾン、セールスフォース、マイクロソフトが大きくプラスに寄与しました。決済プロバイダーのグローバル・ペイメントが同分野で最大のマイナス寄与となりました。同社に関しては、マーチャントソリューションセグメントにおけるポートフォリオの資産の質や、利益率を拡大しつつ持続的に成長する能力に関し疑念が生じ、株価は2024年にバリュエーションの大幅な縮小を経験しました。グローバル・ペイメントの9月のアナリスト向け説明会で、経営陣は、重点事業を絞り込んだ組織変更を伴う新たな戦略の概要を説明しました。この予定された変革の効果を確認するには、2025年より先まで待つ必要があります。

「自動化」分野では、ゼブラとシーメンスの株価が上昇しましたが、ASMLの下落により上昇分の一部が相殺されました。ASMLは、半導体ウェハ製造装置（WFE）市場の見通しの悪化を受けて、株価が下落しました。TSMCなどのファウンドリー顧客からの支出増は、インテルやテキサス・インスツルメンツなど、NANDやトレーリング・エッジのロジック半導体メーカーからの需要低迷により相殺されています。ASMLが最先端ファウンドリー顧客に注力していることやAIアプリケーションに関連した半導体需要の大幅な伸びを考えれば、最近の業界の設備投資削減が同社の見通しに与える影響は限定的と考えられます。

「高齢化とライフスタイル」分野では、ノボルディスクとアストラゼネカが顕著にマイナスに寄与しました。ノボルディスクの経口GLP-1受容体作動薬は、第2相臨床試験で期待されたほどの有効性を示せませんでした。さらに、米週間処方箋データの9月の動向を見ると、9月末にウゴビー（Wegovy）の処方量がわずかに減少しました。これは、基本的な需要の問題というよりも短期的な供給制約を示していると当社はみています。ノボルディスクの株価は短期的に下落していますが、心血管に対するリベルサス（Rybelsus）の処方結果データやCagriSemaの第3相試験での肥満効果データなど、株価に影響を及ぼす重要な材料が第4四半期に控えています。

9月は、サイバーセキュリティ大手のパロアルトネットワークスを本ファンドに新たに加えました。その他では、ケイデンス・デザイン・システムズ、ウーバー・テクノロジーズ、AMDを買い増した一方で、株価が大幅に上昇したボストン・サイエンティフィック、アメリカン・エクスプレス、インテュイティブ・サージカルなどの保有銘柄のポジションを削減しました。

※上記のマーケット動向とファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。

また、見直しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

当ページはアクサ世界株式ファンドが実質投資するアクサ・ワールド・ファンド・エヴォルヴィング・トレンズ(Mシエアクラス)の各種データを掲載しています。

## 〔運用者コメント〕

### 今後の見通し

世界株式の年内の見通しについて当社は依然として強気で、インフレの鈍化と基礎的利益の堅調な伸びが株式の支援材料になるとみています。世界経済の減速リスクへの警戒は怠れませんが、中央銀行の断固とした金融政策措置が経済のソフトランディングを支えています。加えて、中国当局による重要な政策措置も市場を支える可能性があります。

インフレ率の低下と世界経済の減速を背景として、魅力的な構造的成長を実現している企業のバリュエーションはグロース株（成長株）が人気化するにつれて上昇するとみられます。当社はポートフォリオ内のバランスを保っており、堅調なフリーキャッシュフローの創出と持続的な利益成長を実現している「質の高い企業」に焦点を当てています。

「進化する経済（Evolving Economy）」を支えている長期的なトレンドは依然として変わらず、こうした環境で業績向上を実現できる企業がリターンを生むでしょう。

産業用ロボティクス企業の堅調な産業活動や好調な受注件数が「自動化」分野の見通しの明るさを強調する一方で、サプライチェーンの混乱の継続により自動化ソリューションの可能性が一段と強まっています。「コネクテッド・コンシューマー」分野の企業は、パンデミック以降、デジタル技術の採用が加速したことで恩恵を受けており、経済がデジタルトランスフォーメーションを着実に進める中で、この傾向は今後も続く予想されます。排出量の大幅な削減に向けた世界各国のさらなる取り組みは、最近のエネルギー価格の変動と相まってクリーンエネルギーや電力貯蔵、高エネルギー効率ソリューションの必要性を強調しており、「エネルギー移行」分野の企業にとって強力な追い風となっています。

人口統計学的な観点からみると、世界人口の高齢化は消費パターンの長期的変化の恩恵を受ける立場にある「高齢化とライフスタイル」分野の企業に引き続き事業機会を創出しています。中国では規制圧力と長期化した新型コロナウイルスによるロックダウンが市場のセンチメントを圧迫しましたが、増大する富と金融包摂、都市化、医療へのアクセスなどのトレンドは「社会的繁栄」分野\*をより広範に後押しする要因となっています。

「生物多様性」分野の損失を防ぎ、軽減する緊急の必要性から、ますます厳しく明確になるグローバル規制や長期目標、企業の報告義務を原動力に責任ある投資機会が生まれています。当社は、長期的な追い風から恩恵を受ける市場で持続可能な競争優位性を有する事業を展開する質の高い経営陣が、進化する経済の舵取りをするのに最も適しているという見解を保持しています。金利上昇の見通しはデレートの長い資産を圧迫しますが、健全なキャッシュフローを有する企業を選好し、バリュエーションを重視していることが支援材料となるはずですが、したがって、本戦略は世界中で目にする長期的な変化から恩恵を受ける好位置につけています。

※上記のマーケット動向とファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。

また、見通しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

[ファンドの目的・特色]

## ファンドの目的

世界の上場株式にアクティブに投資することにより、投資資産を長期的に増加させることを目指します。

## ファンドの特色

当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。投資対象とする投資信託証券（以下、「投資対象ファンド」ということがあります。）への投資を通じて、日本を含む世界の株式に投資します。投資対象ファンドのうち、外国投資信託証券の組入れ比率を原則として高位に維持します。

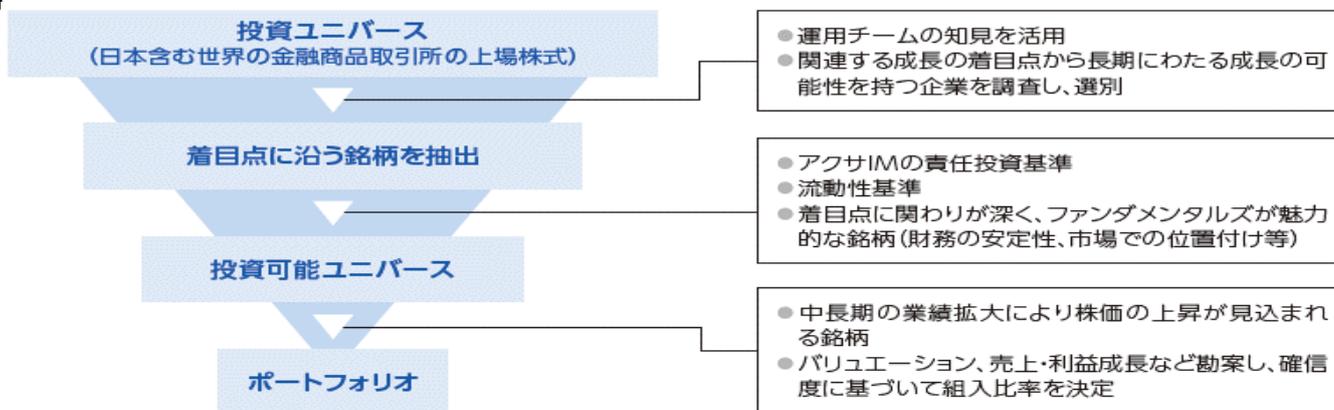
### 主要投資対象としての外国投資信託証券の運用プロセス

- 1 長期的視点で成長が期待される企業の株式に投資するための、長期的投資の着目点
  - 人口動態の変化やテクノロジーの発展等が引き起こす世界的な長期的構造変化に着目します。
  - この構造変化から将来の経済の中心となる長期的な投資の着目点を発掘します。



\* 上記は2024年7月16日現在の投資テーマであり、将来変更となる場合があります。

- 2 長期的投資の着目点に沿った成長性の高い企業を厳選して投資
  - 長期的投資の着目点に沿った成長性の高い企業を見出します。
  - この成長性の高い企業のうち、更に、中長期での成長力、市場での競争優位性などを勘案して、確信度に基づいて銘柄を選択します。



\* 上記は2024年7月16日現在の投資テーマであり、将来変更となる場合があります。

## 〔投資リスク〕

### 基準価額の変動要因

当ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて、値動きのある有価証券等に投資します。このため、当ファンドの基準価額は、実質的な組入有価証券等の値動き等により変動しますので、当該組入有価証券等の価格の下落、組入有価証券等の発行者の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。従って、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益は全て投資者に帰属します。

投資信託は預貯金と異なります。

|          |  |
|----------|--|
| 価格変動リスク  | 当ファンドが実質的に投資を行う株式等の価格は、政治・経済・社会情勢、株式等の発行企業の業績や信用度、市場の需給関係等を反映して変動します。当ファンドが実質的に投資している株式等の価格が下落した場合には、当ファンドの基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。                   |
| 為替変動リスク  | 当ファンドが実質的に投資を行う外貨建資産の円換算価値は、当該資産における価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替相場の変動の影響を受け、損失を被る場合があります。為替相場の変動が円高に推移した場合は、当ファンドの基準価額の下落要因となります。                              |
| 金利変動リスク  | 当ファンドが実質的に投資を行う株式等の価格は市場金利の変動により変動することがあり、これに伴い基準価額が下落することがあります。   |
| 信用リスク    | 株式等の発行体が経営不安、倒産、債務不履行となるおそれがある場合、または実際に債務不履行となった場合等には、当ファンドは実質的に保有する有価証券等の価格変動によって重大な損失を被ることがあります。   |
| 流動性リスク   | 有価証券等を売却あるいは購入しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や、取引規制等により十分な流動性の下での取引を行うことができない場合には、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となり、基準価額の下落要因となることがあります。                           |
| カントリーリスク | 投資対象としている国や地域において、政治・経済、社会情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合等には、予想外に基準価額が下落したり、運用方針に沿った運用が困難となる場合があります。<br>特に新興国や地域では、政情に起因する諸問題が有価証券や通貨に及ぼす影響が先進国と比較して大きくなる場合があります。 |

※上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

### その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。そのため、投資対象ファンドが有するリスクを間接的に受けることになります。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。
- 当ファンドは、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。  
また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。  
分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

## アクサ世界株式ファンド (追加型投信/内外/株式)

基準日:

2024年9月30日 現在

## 〔手続き・手数料 (お申込みメモ) 〕

|                            |  |
|----------------------------|--|
| 購入単位                       | 購入最低単位を1円または1口単位(当初元本1口=1円)として販売会社が定める単位とします。  |
| 購入価額                       | 取得申込受付日の翌営業日の基準価額  |
| 購入代金                       | 販売会社の指定する期日までに、指定の方法で申込みの販売会社にお支払いください。  |
| 換金単位                       | 販売会社が定める単位   |
| 換金価額                       | 換金申込受付日の翌営業日の基準価額  |
| 換金代金                       | 原則として換金申込受付日から起算して7営業日目から販売会社でお支払いします。   |
| 申込締切時間                     | 原則として、午後3時まで(販売会社所定の事務手続きが完了したものを、当日の受付分とします)<br>2024年11月5日以降は原則として、午後3時半まで(詳細は販売会社にお問い合わせください)<br>(販売会社所定の事務手続きが完了したものを、当日の受付分とします)                                   |
| 購入の申込期間                    | 2024年1月17日から2025年1月16日まで<br>(申込期間は、上記継続募集期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます)   |
| 購入・換金の<br>申込不可日            | ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行またはルクセンブルクの銀行のいずれかが休業日に当たる日、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日(詳細は販売会社にお問い合わせください)  |
| 換金制限                       | 信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金を制限する場合があります。  |
| 購入・換金申込<br>受付の中止<br>および取消し | 取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金の申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金の申込みの受付を取り消すことができます。   |
| 信託期間                       | 2021年10月29日から、原則として、無期限  |
| 繰上償還                       | 繰上償還することが受益者のため有利であると認めるとき、換金により受益権の総口数が30億口を下回ることとなったとき、純資産総額が30億円を下回ることとなったとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、ファンドの信託契約を解約し、信託を終了させることができます。                          |
| 決算日                        | 毎年4月16日および10月16日(休業日の場合は翌営業日)  |
| 収益分配                       | 年2回の決算日に、収益分配方針に基づき分配を行います。  |
| 信託金の限度                     | 1兆円  |
| 公告                         | 原則、 <a href="http://www.axa-im.co.jp/">http://www.axa-im.co.jp/</a> に電子公告を掲載します。   |
| 運用報告書                      | 交付運用報告書を計算期間の末日ごとに作成し、信託財産に係る知れている受益者に対して交付します。また、電子交付を選択された場合には、所定の方法により交付します。  |
| 課税関係                       | 課税上は、株式投資信託として取り扱われます。<br>公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。<br>当ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。<br>詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 |

# アクサ世界株式ファンド (追加型投信/内外/株式)

基準日:

2024年9月30日 現在

## 〔ファンドの費用〕

### 投資者が直接的に負担する費用

|         | 料率等                                       | 費用の内容  |
|---------|---|--|
| 購入時手数料  | 販売会社が別に定める率<br>( <u>上限</u> )3.3% (税抜3.0%) | 購入時手数料は、投資信託を購入する際の商品等の説明や事務手続等の対価として、販売会社に支払う手数料です。 |
| 信託財産留保額 | ありません                                     |  |

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

|                | 料率等                            | 費用の内容  |
|----------------|--------------------------------|--|
| 運用管理費用(信託報酬)   | 年率0.847%<br>( <u>税抜</u> 0.77%) | 運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され、毎計算期間の最初の6か月終了日(休業日の場合翌営業日)および毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。   |
| 配分(税抜)         | 委託会社                           | 年率0.60%  |
|                | 販売会社                           | 年率0.15%  |
|                | 受託会社                           | 年率0.02%  |
| 投資対象とする投資信託証券  | エヴォルヴィング・ファンド                  | 年率0.17%  |
|                | マネー・ボール・ファンド                   | 年率0.00%  |
| 実質的に負担する運用管理費用 | 年率1.017%程度(税抜0.94%)            |  |
| その他の費用・手数料     |                                | 借入金の利息、信託財産に関する租税、受託会社が立て替えた立替金の利息<br>信託事務の処理に要する諸費用(法律顧問・税務顧問への報酬、監査報酬、法定開示のための法定書類(有価証券届出書、有価証券報告書、半期報告書、目論見書および運用報告書その他法令により必要とされる書類)の作成および印刷費用、および公告費用等を含みます。)<br>なお、これらの費用は、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。 |

※投資対象とする投資信託証券において控除される費用等は、将来変更される可能性があります。

## 〔税金〕

- 税金は表に記載の時期に適用されます。
- 以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

| 時期            | 項目        | 税金  |
|---------------|-----------|---|
| 分配時           | 所得税および地方税 | 配当所得として課税<br>普通分配金に対して20.315%                 |
| 換金(解約)時および償還時 | 所得税および地方税 | 譲渡所得として課税<br>換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315% |

※少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合

少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」は、少額上場株式等に関する非課税制度であり、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が無期限で非課税となります。

ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした商品を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。

詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※受益者が、確定拠出年金法に規定する資産管理機関および国民年金基金連合会等の場合は、所得税、復興特別所得税および地方税がかかりません。

なお、確定拠出年金制度の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用に係る税制が適用されます。

※上記は、2024年4月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※法人の場合は上記とは異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

〔委託会社、その他関係法人〕

|      |  |
|------|--|
| 委託会社 | アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社<br>【金融商品取引業者】関東財務局長（金商）第16号<br>【加入協会】一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、<br>一般社団法人第二種金融商品取引業協会、日本証券業協会<br>【問い合わせ先】03-5447-3160（委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで）<br>【ホームページ】 <a href="https://www.axa-im.co.jp">https://www.axa-im.co.jp</a><br>ファンドの運用の指図を行います。 |
| 受託会社 | 三菱UFJ信託銀行株式会社<br>ファンドの財産の保管および管理を行います。   |

ご留意事項

- 当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として、アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社が作成した資料です。ファンドのご購入（追加設定）の際には、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、お客様自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成していますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 当資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等は過去のものであり、将来の市場環境・運用成果等を示唆または保証するものではありません。
- 当資料に記載された市況や運用に関するコメント、運用実績に関するグラフ、数値その他の内容は、作成日現在のものであり将来の動向や運用成果を保証するものではなく、また将来事前の予告なく変更されることがあります。
- 投資信託は値動きのある有価証券等（外国証券には為替リスクもあります。）に投資しますのでその値動きに伴い基準価額が変動します。従って投資元本および運用成果が保証されているものではなく、また投資信託財産に生じた損益は全て投資家の皆様に帰属します。そのため、市場取引価格または基準価額の下落により、損失が生じることがあります。基準価額の変動要因については、投資信託説明書（交付目論見書）および当資料の「投資リスク」に係る記載箇所もあわせてご確認ください。
- 投資信託は、預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金の対象にはなりません。
- 当資料中では四捨五入で処理した数値を用いる場合がありますので、誤差が生じることがあります。

〔販売会社情報一覧〕

| 商号                                      | 登録番号     |                 | 日本証券業協会 | 一般社団法人<br>日本投資顧問<br>業協会 | 一般社団法人<br>金融先物取引<br>業協会 | 一般社団法人<br>第二種金融商<br>品取引業協会 | 備考 |
|---|----------|-----------------|---------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|----|
|   | 金融商品取引業者 | 登録金融機関          |         |                         |                         |                            |    |
| 株式会社SBI証券                               | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第44号  | ○       |                         | ○                       | ○                          |    |
| 株式会社SBI新生銀行<br>(委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)   | 登録金融機関   | 関東財務局長(登金)第10号  | ○       |                         | ○                       |                            |    |
| 株式会社SBI新生銀行<br>(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社) | 登録金融機関   | 関東財務局長(登金)第10号  | ○       |                         | ○                       |                            |    |
| マネックス証券株式会社                             | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第165号 | ○       | ○                       | ○                       | ○                          |    |
| 株式会社イオン銀行<br>(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)   | 登録金融機関   | 関東財務局長(登金)第633号 | ○       |                         |                         |                            |    |
| 松井証券株式会社                                | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第164号 | ○       |                         | ○                       |                            |    |

※上記の販売会社は今後変更となる場合があります。販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。